

## 第2回 大阪市建設局下水道施設包括業務委託のPDCA実施にかかる有識者会議要旨

日 時 令和5年6月28日（水）午前10時00分～12時00分

開催場所 建設局共通第11会議室

出席者

（委員）齋藤委員、塩田委員、藤原委員、松島委員、若尾委員

※互選により松島委員を座長として選任

（事務局：建設局下水道部施設管理課）

房課長、田中課長代理、山崎課長代理、沢田係長、前田係長

議 題

業務品質向上を目的とした包括業務委託計画の改善について、客観的な意見等を聴取する。

- （1）事業概要・業務概要（資料6 P3～4）
- （2）包括委託におけるPDCAサイクルについて（資料6 P5～7）
- （3）令和4年度 モニタリング実施状況（資料6 P8～16）
- （4）令和4年度 要求水準、評価基準の達成状況（資料6 P17～27）
- （5）令和4年度 事故発生状況（資料6 P28～41）

会議要旨（主な意見）

- （1）事業概要・業務概要
  - ・特になし
- （2）包括委託におけるPDCAサイクルについて
  - ・今後の有識者会議では「毎年実施するPDCA」と切り分けて、「5年毎に実施するPDCA」による契約見直し・変更協議に向けて、長期的な課題等の継続的な蓄積を提案したい。
- （3）令和4年度 モニタリング実施状況
  - ・方面管理事務所ごとに、モニタリング状況が見える化されており、取組の共有や意識付けの観点から価値のある取り組みである。
  - ・改善可能な項目について、継続的に検討を行い、有識者会議にて進捗報告の必要がある。
  - ・モニタリング方法や項目ごとの評価については、各方面管理事務所と同じ基準を用いて評価することが必要である。
  - ・モニタリング確認項目の集約については、十分に精査を行い整理する必要がある。
  - ・受注者側からの改善提案についても盛り込む必要がある。
- （4）令和4年度 要求水準、評価基準の達成状況
  - ・大阪市の過去の実績も用いて、5年後や10年後を見据え基準値等の変更の検討が必要である。
- （5）令和4年度 事故発生状況

- ・ 処理場、抽水所の操作技術や経験の継承について、中期的な継承手法の検討が必要である。

以上